

## 略歴

1946年（敗戦の翌年）豊川で誕生。

高校卒業後電電公社入社。高校時代のからの闇を背負いつつ、浪人中の友と奥三河の山々に地図を片手に挑戦した。

そのような時、公社の社員研修で鈴鹿の山を良く知る「山のベテラン」と出会い、初めての高峰「八ヶ岳」を縦走する。八ヶ岳登山前泊の宿舎がJYH会員には安かったので会員登録。

会員に送られる「JYH新聞」にYHG結成の呼びかけがあり、豊川YHGの結成に参加する。そこで「厚遇精神」を学び、市民ホスティングや市民ハイキングの企画・運営を行う。

昭和45年にYHGの月例会で、ろうあ協会長さんから「手話学習を」の呼びかけを受けて手話学習を始める。同じ頃に豊川自然を守る会を結成し乳岩清掃活動を行い、豊橋自然を守る会会長さんと知り合い、会長さんの紹介で姫街道の自然と史跡を守る会活動にも参加した。姫街道の難所本坂峠道復元作業・豊川西島稲荷絵馬調査を行い、姫街道75Kを一泊二日で歩いたりもした。

この頃から手話活動を本格化させ、豊川手話を学ぶ会結成（昭和48年）、その会を発展させた豊川手話サークルやじろべえ結成に参加（昭和50年）。愛知県手話通訳研究会（全国手話通訳問題研究会愛知支部）を結成（昭和54年）、事務局長・運営委員長・全国本部運営委員を経験。平成三年に手話通訳士試験合格。

現在は豊川手話サークルやじろべえ会長、豊川市ボランティア連絡協議会会長。日常の活動としては、市役所登録手話通訳者として「ろう者の情報保障」を担っている。また、火・木・土曜の午前中は新城で「たまねぎ会」の仲間と本宮山を仰ぎ見ながら農作業をしている。



国分尼寺跡にて手話通訳（2010.10）